

編 集 後 記

- ☆ 本号はバランスを考慮して、研究ノート・書誌・資料紹介その他の原稿をもって編集しました。
- ☆ 宇治郷氏の原稿は、本誌30号の同題「一開化期から1920年代まで」の続稿。この分野では先駆的な韓国図書館運動史の力作です。ソウル五輪を前に韓国への関心が高まっているこの好機に発表することができました。執筆者に感謝します。
- ☆ 聖書の問合せは多いが、無著者古典のためなどもあって検索しにくい資料群であり、十数種の目録類を検索しなければ、今までは回答できなかったが、今号の岡村氏の労作によって、この作業が省略されました。ついでに願わくば、永遠のベストセラーズともいえる聖書の完全な総合目録作成の契機にでもなれば幸いです。
- ☆ 西田氏の原稿はかなり前から用意していたものですが、本号によりやく発表することができました。北川氏のレファレンス余話は、参考課勤務のときに扱ったものです。現在は調査及び立法考査局に異動しました。念のため。
- ☆ 前号の写真細目総覧は、大変好評のお言葉を頂戴しております。この正月はテレビ・ラジオ・新聞で紹介され、話題にのぼり、全国各地からの問合せに追われました。今後も本誌について感想なりご意見を編集事務局（参考課文芸班：馬場・土屋・岸・横田）あてにお寄せ下さい。
- ☆ 編集委員の大幅な異動がありましたので紹介します。(B)

小山 隆司

馬場 萬夫 (参 考 課)      富田美樹子 (官庁資料課)

土屋 紀義 (    "    )      広瀬 順皓 (政治史料課)

田中 克彦 (    "    )      折田 洋晴 (科学技術資料課)

金井 富美 (    "    )      吉久 明宏 (アジア資料課)

檜佐 美幸 (    "    )      野村 稔 (特別資料課)

参考書誌研究 第34号 昭和63年7月25日発行

編 集 国立国会図書館専門資料部

発 行 国立国会図書館

東京都千代田区永田町1の10の1 (〒100)

電 話 581-2331 (代)

印 刷 株式会社 ディグ

本誌に掲載された記事を全文または長文にわたり抜すいして転載されるばあいには、事前に専門資料部参考課へ連絡してください。